（仮称）豊田市商業活性化プラン2025～2029（案） について

1．豊田市商業活性化プラン2025～2029の概要

- ◆ **期間**　2025年度から2029年度（令和7年度から令和11年度）の５か年
- ◆ **対象産業**　小売業や飲食店、サービス業などの第三次産業
- ◆ **位置づけ**　第９次豊田市総合計画と整合を図り策定
- ◆ **審議会**　豊田市商業振興委員会（令和5年8月、10月、令和6年2月、5月、8月、10月）

2．豊田市商業活性化プラン2021～2024の評価

1）プランの背景

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、消費者の動向や事業環境に大きな変化のあった2021年に「豊田市商業活性化プラン2021～2024」を策定した。
- 「豊田市商業活性化プラン2018～2020」の目的である**「暮らし楽しむまちづくりに向け、魅力にあふれたまちを次世代に引き継ぐ商業の活性化」を将来像として継承**し、**コロナ禍においても本市商業の魅力と活力を維持**できるように、**商業の担い手と市民が一体**となって商業の活性化に取り組むことを目指した。
- 新型コロナウイルスが商業に与えた影響を「既存店舗の経営環境の悪化と消費意欲の低下」「雇用機会の喪失と所得の減少」「新しい生活様式の定着と買い物行動の変化」と整理し、施策に反映させるとともに、臨機応変に事業に取り組む方針とした。

2）評価

政策の方針	施　策	課　題
付加価値の高い商業・商品の創出	1. 市内での**消費購買を増やす**とともに、**商業拠点性を向上**する 2. 豊田市商業の魅**力と価値を高める**	• 商店街を運営する組織やその活動の維持にあっては、**担い手の獲得**が課題 • 中心市街地のにぎわい創出に向けて、**空き店舗解消**に取り組む必要がある。 • 商品展開の支援だけではなく、**観光や来訪を促す**取組も求められる。
新たな担い手人材の育成・定着	1. ベンチャー・エコシステムを活性化して**多様な起業を促進**する 2. 必要な人材を確保しやすい事業者へと**転換**する	• 機運醸成から自立に至る支援を一連の流れで受けられる施策展開によって、**創業しやすい環境を顕在化**させる。 • 雇用確保が困難になることを想定して、**効率化・省人化**の視点も必要となる。
買い物環境の維持・向上	**1. 安心して買い物できる環境**を確保する 2. 個々の事業者の**魅力・サービスの質を向上**する	• 買い物環境の取組を**継続性や採算性**が取れる業態や販売方法に改善する必要がある。 • 高い成果が得られた取組を本市の商業の魅力や**優良事例**として市民や事業者に発信することが重要である。

2023年度末時点

将来像実現に向けた目標		目標達成指標	目標値（累計）	実績（累計）
より質の高い商品・サービスの提供、店づくり・商業地づくりの推進	**高い意欲と希望をもって事業活動に取り組む人材の育成**	**人材育成事業への参加者数**	360人	41人
	新たな担い手の創出	**創業者数※**	968人	778人

※豊田市が策定した創業支援等事業計画に掲載されている事業を受けた人の件数

【総評】 人材育成は、各事業者がコロナ禍からの経営回復を優先したことにより、研修会や勉強会などの取組みが停滞しため、目標値と乖離がある。一方で、新たな担い手の創出は、働き方が多様化していることも追い風となり、順調に進展している。

3．本市の商業の現状と課題

課題１　買い物環境悪化の回避

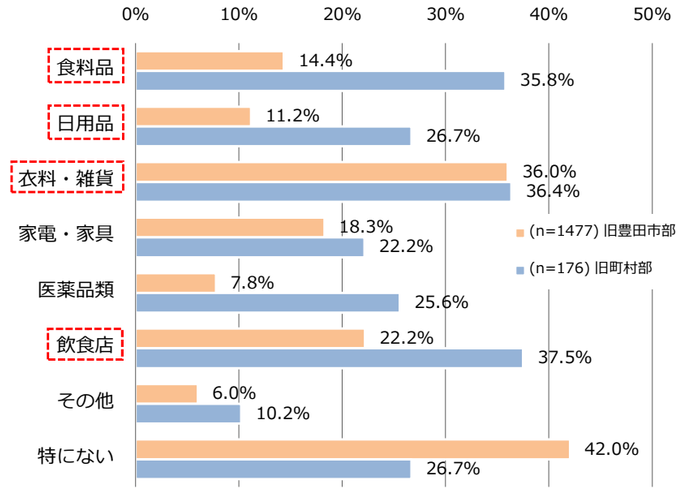
（１）買い物困難者対策

食料品の購入に不便を感じている人が**旧町村部**や**高岡地区（27.3%）**に多く、さらに山村地域は買い物困難者の増加が懸念されるため、**将来を見据えた持続可能**な買い物方法の普及に取り組む必要がある。

（２）商業地の機能向上

地域の商店街や中心市街地の店舗減少が深刻化していることに加え、市民の３割程度が**衣料品類の購入や飲食店の利用**に不便を感じている。商業地への出店や開業を促進し、多様な買い物や回遊が楽しめる空間の再生を図る必要がある。

【自宅付近で購入できる場所がなく不便だと思うもの】



【出典：買い物や多様な働き方に関するアンケート調査（令和5年9月実施）】

課題２　商業の担い手の確保と維持

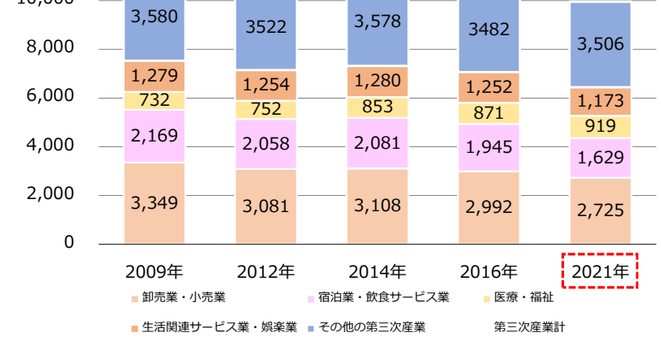
（１）新陳代謝の促進

小売・サービス業の事業所が16年から21年にかけて**600超減少**しており、商業機能の低下が懸念される。**創業を活発**にすることで、**新たな担い手創出**を促進し、新陳代謝を促していく必要がある。

（２）持続的な経営の支援

商業・サービス業の全国的な景況感は回復基調であるものの、本市の事業者は厳しい業況と感じており、将来のリスクに備えるためには、**経営の指導・支援を包括的に行っていく**ことが重要である。

【第３次産業事業所の推移】



【出典：経済センサス】

課題３　チャレンジする商業者の創出

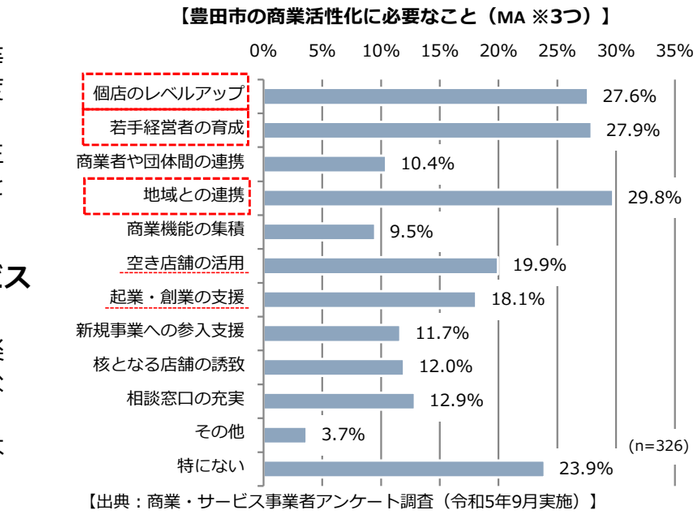
（１）稼げる商業者の育成

近隣市にて大型商業施設が開業する等の大きな動きがあり、本市商業の満足度が低下することが予想されため、消費ニーズを的確に掴む、新たなニーズを生み出すことができる**「稼げる商業者」**を育てていくことが重要である。

（２）都市の魅力を高める商品・サービスの創出

市外の方からも商業による賑わいや楽しさを感じるまちとして認知されていないため、**豊かな資源（食・自然・歴史・文化等）を活かした展開**で本市ならではの魅力を創出することが重要である。

【豊田市の商業活性化に必要なこと（MA ※3つ）】



【出典：商業・サービス事業者アンケート調査（令和5年9月実施）】

4．商業の活性化に向けた施策展開

【目指す姿】
ともに築く商業の活力によって、市民の豊かな暮らしを支え・人を惹きつける都市

買い物や飲食、娯楽等の「商業」によって、**市民の豊かな暮らしと訪れる人の喜びや楽しみをもたらし、あらゆる人の心を満たすことができる都市**を目指す。

そのためには、市民、商業者、商業に係る団体・組織がそれぞれの役割で商業の活性化に参画し、商業を持続発展させていくことが重要となる。

2030年に目指す状態
- 商業地の機能や魅力を高めて、**市民が必要とする買い物環境**が形成されている
- 商業・サービス業が営みやすい環境を整えて、**安定した商業・サービスが供給**できている
- 新しいことに積極的に**チャレンジする担い手**によって商業に活力が生まれている

課題１
買い物環境悪化の回避
- 買い物困難者対策
- 商業地の機能向上

課題２
商業の担い手の確保と維持
- 新陳代謝の促進
- 持続的な経営の支援

課題３
チャレンジする商業者の創出
- 稼げる商業者の育成
- 都市の魅力を高める商品・サービスの創出

目標１
買い物利便性の向上

目標2
商業の担い手の維持

目標3
商業の稼ぐ力の向上

市民の安心で快適な暮らしの実現

持続可能な商業の形成

商業も盛んな都市イメージの定着

柱1 商業環境の整備（場所）

柱2 支援体制の強化（人）

柱3 商品・サービスづくりの促進（商品）

施　策	取　組
重 点 **食料品・日用品の買い物不便の解消**	• 買い物が不便な地域において、**食料品・日用品等の買い物環境改善に取組む事業者への支援** • **多様な視点による買い物環境改善の協議体**を軸とした先進的な買い物技術・方法の導入
中心市街地の商業・サービス業の立地促進	• 商業・サービス機能の核となる施設等の誘致を推進 • 空き店舗や公共的空間等を活用したチャレンジ環境の整備促進
商店街の商業機能の再生	• 商店街等活性化計画の点検・策定の支援 • 商店街や団体の強化につながる事業の支援（人材育成、集客イベント、情報発信等） • 商店街マネージャーによる商店街への伴走支援
重 点 **創業しやすい環境の形成**	• **こども・若者が起業・創業への理解と関心を高める取組みの実施** • **ワンストップ創業支援窓口**及び**創業塾**の実施 • **開業に向けた準備に対する支援**（空き店舗のマッチング、資金繰り支援等）
包括的な経営支援体制の構築	• 商工会議所及び商工会の経営指導の支援 • 小規模事業者の資金融通を円滑にする融資制度の実施 • 事業者向け支援制度の情報発信強化
重 点 **新事業展開へのチャレンジ促進**	• **ビジネスの差別化、高付加価値化及び効率化等に挑戦**する事業者への支援 • **商業者の魅力ある取組事例**の取りまとめ及び発信
商品・サービスの高付加価値化	• 専門家によるマーケティング等の支援 • 見本市への出展等の販路拡大の支援 • 観光と連携した特産品の付加価値向上

目標	目標達成指標（KGI）	基準値	方向
1	食料品の購入に不便を感じている人の割合（①旧豊田市部　②旧町村部）	①14.4%　②35.8%（2023年）	↓
	買い物に不便していない人の割合（①旧豊田市部　②旧町村部）	①42.0%　②26.7%（2023年）	↑
2	商業・サービス業の事業所数【経済センサス】	9,952事業所（2021年）	→
	地域経済団体に加入している事業所数	7,943事業所（2023年）	↑
3	商業地に満足している市民の割合【市民意識調査】	27.1%（2023年）	↑
	来訪者の飲食、買い物における消費金額単価	2,115円（2023年）	↑

■ **重点施策の考え方**

「第９次豊田市総合計画 ミライ実現戦略2030」において定められた取組目標の達成に寄与する施策を重点施策として位置付けている。

取組方針2「ともにミライにつながるまちをつくる」

取組目標3「産業中枢都市として深化し続ける」

⇒「創業しやすい環境の形成」「新事業展開へのチャレンジ促進」

取組目標4「将来を展望した都市環境の形成を進める」

⇒「食料品・日用品の買い物不便の解消」